

令和5年度 海上の森保全活用事業の取組について

あいち海上の森条例(平成18年4月1日施行)に基づき、海上の森を愛知万博の理念や成果を継承する愛知万博記念の森と位置付け、将来にわたり保全活用するとともに、県民参加のもとに森林や里山に関する学習と交流の拠点として、里山保全活動、森林環境教育を始め、情報発信や人材育成などの取り組みを行いました。

■主な取組

1 愛知万博記念の森としての保全のための事業

事業項目		取組状況
里山保全事業	耕地管理	体験学習プログラム「里と森の教室」で使用する農地の維持管理委託
森林の維持管理事業	森林整備	治山事業により本数調整伐を実施 4.44ha(恵みの森 2.47ha、循環の森1.97ha)
	危険木伐採	枯損木、倒木等の危険木の除去
	巡視	散策者の安全確保等のための落枝除去・歩道等の点検と巡視 台風や豪雨等の被害木の除去
	林道の維持管理	台風や豪雨等で損傷した林道、作業道、歩道等の整備補修
事業用地維持費		業者による草刈等の実施
自然環境調査事業	ムササビ・猛禽類調査	海上の森におけるムササビの活動状況の把握 及び猛禽類の営巣状況調査
	猛禽類調査	海上の森の猛禽類の活動状況を把握し、その結果を海上の森の保全活用に役立てるため、猛禽類の飛翔状況などを調査
	稀少動物の生息状況調査	ムササビが生育する里山環境を維持保全するための基礎資料となる生息状況を調査
	ほ乳類の生息状況調査	里山環境を維持保全するための基礎資料となる、シカ、イノシシ、キツネ、タヌキ等の生息状況を調査
	調査報告書	調査結果を海上の森調査報告第13号としてとりまとめ

2 森林や里山に関する学習と交流のための事業

(1) 体験学習・多様な主体との連携

事業項目	取組状況
体験学習 プログラム	里と森の教室 里の農作業、里山文化の体験を通じて里山の魅力を知る 5/21～12/17の15日間で延べ320名参加 <9/24 稲刈り> グリーンウッド ワーク 里山の木でつくる暮らしの道具 ①スプーンづくり(5/13・14) ②スプーンづくり(8/5・6) ③スツールづくり (11/11・12, 11/25・26) ④ククサづくり(2/17・18) 定員各10名(計40名) 参加者 35名 <①スプーンづくり>
体験学習 プログラム	キッズ アカデミー 森の楽しさやおもしろさを親子で体験・共有して学ぶ(12/3の1日間) <森のがっこう・小学生4組10名> <森のようちえん・園児10組23名>
多様な 主体との 連携	企業等 との連携 <今年度の活動団体> 伊藤園、カルビー、CKD、ワタミ・SEF、ヤマとナデシコ、よりあい工房ぱんどり、 マリウムキッチン、アズマヤプロジェクト、山の会「くらら」 <2/10 CKD> <10/29 アズマヤプロジェクト> <企業、愛知県環境局、センターの3者協定による活動団体> 大和リース

事業項目		取組状況
多様な主体との連携	団体間の交流	パネル展示「NPO・グループ活動広場」の開催(2/20～3/20) 団体活動交流会の開催(3/2) <パネル展示>  <団体活動交流会> 
	大学・学校等との連携	<講義及び実習> 名古屋大学1年生35名(9/20)及び3年生18名(10/27) <調査> 海上の森モニタリングサイト1000調査、名古屋大学、名古屋工業大学、愛知学院大学、あいちコウモリ調査隊など

(2)人材の育成

事業項目		取組状況
海上の森アカデミー	講座 実施期間 参加者数	森の自然教育コース(7/1～8/19の5日間)参加9名・応募12名 森女養成コース(9/30～11/12の6日間)参加8名・応募23名 里山暮らしコース(12/10～1/28の5日間)参加10名・応募24名 <森の自然教育コース> (ロープワーク)  <森女養成コース> (チェーンソー実践)  <里山暮らしコース> (やきもの②) 

3 海上の森の取組や成果の普及・情報発信のための事業

事業項目	取組状況
情報発信	ムーアカデミー通信発行2回 Instagramの開設 SNSによる情報発信
海上の森の認知度向上	デジタルサイネージ広告委託 栄駅など4駅 7日間放映 インフルエンサーによる情報発信 2回

4 施設の整備と運営のための事業

事業項目	取組状況
施設整備	ウッドデッキ修繕工事 物見の丘の塔修繕工事 本館1階玄関床タイル張替工事 地下1階機械室及び電気室送排風機部品交換修繕工事 ＜ウッドデッキ修繕工事＞  ＜物見の丘の塔修繕工事＞ 